

平湯本間の軌道に

テ退を命ずるらし 自動車に壓倒されて 半年前から運轉休止

縣知事宛に廿七日平土木監
督所長から上申した處によ
れば石城郡湯本、平町間約
二里の間國道に敷設してあ
る日本鐵道興業會社の軌道
は自動車に壓倒され半年前
から運轉休止してをるが軌
道がその儘となつてをるた
め車馬の交通上支障少くな
いので速かにこれを撤廢す
るよう命令して貰いたいと
の事である縣では同日同會
社に對し將來營業繼續の意
志運轉休止は一時的か永續
的かと更に營業狀態などに
ついて一應照會しその回答
を待つて將來營業の見込立
たらずと認定した場合は軌
道の撤廢を命ずることにな
る模様である

技術員 總出動で

違憲防止宣傳

石城郡内の初秋蠶掃立は八
月三日頃一齊に開始すべく
目下準備中だが月初以來干
天続きで桑園は見事に發育
し近年にない豊作なので糸
價は安くても養蠶業者の飼育
熱をそ、りこの分では昨年
より二割増掃を豫想されて
ゐるが秋蠶は特に本年の如
き増掃の時に危険があるの
で養蠶同業組合では技術員
の總出動で違憲防止策を宣

來聽を歓迎

明日の同窓會 嘉悦女史講演

一般婦人の
傳してゐる

平第二小學校にては明廿一
日午後一時から同窓會を開
催するが東京女子商業學校
長嘉悦孝子女史の講演ある
筈であつて會員外の一般婦
人も來聽を歓迎すると

復活を期し

石城社民發會

社會民衆黨石城支部創立準
備會ではいよ、然る八月
四日午後六時から半町聚樂
館に於て支部發會式を舉行
し併せて同會演說會を附催
するが本部から黨首阿部磯
雄氏赤松克麿氏をはじめ數
名來援する筈で盛會を豫想
されてゐる同支部は石城各
炭礦を中心として半、四倉
植田、湯本、小名濱各町に
も勢力範圍を廣め没落の運
命にあつた無産黨の復活を
期し本縣第一の有力なもの
となすべき意氣込である

木村代議士 けふ出發

歐米の旅へ

石城郡選出代議士木村清治

土用の丑の日で

あす肉屋は大賑ひ ウシやウナギやウドン迄

明三十一日は土用の丑の日
で牛肉、鰻を始めうとつく
ものなら饅饅まで食ふ慣例
となり、また昔ながらの藥
草なども此の日に採つてあ
るものは一層効能であると
云はれて居るが半町内では
牛肉の需要が頗る多く町内
の牛肉商が屠殺する牛は廿
頭位と見られ各肉屋の店先
は朝から行列を造つて待つ
てゐるであらうが過去を見
ても不景氣な歳は中素肉食
を減じて居るので丑の日の
需要は却て多いといふ見込
みから各店ともその準備に

死ぬる幼児

親さん御注意

打續く熱さのため養生を怠
つて死んで行く者が半町に
めつきり増して來た、殊に
一寸した下痢から死に至る
幼児が多く、一日三名多い
時は六名を數へてゐる、特
別の惡痢の流行する他はこ
んな多數のことはありませ
ん全く親達の不注意からで
す」と係員は語つてゐた



日やけは 何故黒くなる

それで石鹸で洗頭した後過
酸化水素水を脱脂綿に浸し
顔面に塗りそれが乾いて

から普通のお化粧をすれば
よいのです、過酸化水素水
は眉毛や生え際につかぬ様
にしないと毛を痛める事が
ありますから、注意せねば
ならぬ。元來色の黒いのを
なほすには昔からいろ／＼
な藥が用ひられて居ります
がそれはやはり過酸化水素
水を用ひるのが最も効果以

正面衝突

人事不省に

石城郡豊間村大字豊間字下
町志賀周松方雇人阿部芳保
(三)は去る廿七日午後八時
頃自轉車に乗り同村役場前
道路を疾走中同村大字薄磯
境與三郎(五)に正面から衝
突し與三郎は後方に轉倒後
頭部を強か打ち付け人事不
省に陥り全治一ヶ月を要す
る傷害を蒙り平署に傷害の
告訴を出したと

勿來海の研究

石城
郡勿來小學校では海軍思想
の涵養、海の研究、體育の
指導等を目的として去る廿
四日より廿六日まで勿來海
岸に行はれたが尋三以上高
二まで水泳體操唱歌等外松
樹の涼風をあびお嘶や學藝
會もあつたが教育上認むべ
きものあつた

明日の 天氣豫報

南寄の風
暑さ厳し
く處によ
り夕立

外ににきびの治療にも用ひ
られて居ります、なほ日や
けを防ぐ爲めには外出の際
美身クリームをお顔につけ
出かけるやうに心がけるが
よいのです。又汗が出た時
は直に拭き取る事が必要で
す。一たいにぬれた肌を日
光に晒すのが日やけて原因
になるものであります

流石の河童連も

冷たさに震へ上る

今年馬鹿に海水が冷い 寒流の關係らしい

炎熱續きに拘らずどうした
ものか本縣近海の水温は陸
上と反對に例年より
非常に 冷たく四倉
小名濱等は萬に達する人出
にもかかはらず海水にひた
つて居る人は僅二三百名で
この人達も冷たくてすぐに
ふるへ上る始末で海人を悲
嘆させて居る、この海水の
冷温はやがては氣象状態に
變調を來さしめ本縣近海漁
業農作物等に

至大の

影響を與へ
るので北海道東北六縣海洋
調査會の問題とまでなり福
島調査所小名濱出張所本縣
水産試験場等では目下冷温
の原因その他について調査
研究を 續けて居る

が大体は暖寒流の關係らし
く福島側候所小名濱出張所
は二十九日左の如く語つた
本縣近海並に東北各縣太
平洋岸の海水温は例年よ
り何れも相當く本縣小

醜狀と惡臭は 言語に絶す

平町の下水道

が永續すれば北海道沖に
高氣壓が固定して海雨的
氣候を招くでないかと思
はれるので調査會で其の
意見をのべたところ北海
道調査所長其の他も同一
意見であつた云々

辯明書作製

平町會開く

平町會は來月二日午後一時
から開會過股決定をなした
選舉無効異議申立に關する
辯明書の作製並に水道配債
に關し協議する

停滯でその醜狀と惡臭は全
く言語に絶するものあり然
もこの眼を開けてこれを掃
除するときは炎天時にあつ
て灌漑水の不足を來し問題
となるので手のつけやうな
く附近住民は鼻をつまんで
憤慨して居る